



小豆島八十八ヶ所霊場参拝



平成26年
第48号

発行
 広島新四国八十八ヶ所
 第三十二番札所霊場
 真言宗
 箱島山 慈眼院 正観寺
 小 出 真 行 弘
 小 出 真 弘

慈悲と観音さま

仏教では「慈悲」という言葉を、よくひとつの熟語として用います。「慈」も「悲」も「いつくしむ」ということですが、「慈」と「悲」とは全く違う内容を意味している言葉であります。

經典では、「慈は与楽、悲は筏苦」と説明してあります。「慈」というのは、「相手に喜びや楽しみを与えること」ということです。「悲」というのは、「相手の苦しみや悲しみを取り去ってあげろ」ということです。筏苦与楽という四字熟語があります。

一般的に、お父さんの恩は、喜びや楽しみを与えてくれる慈恩であります。お母さんの恩は、悲しみや苦しみを取り去ってくれる悲恩であります。

無辺の生死いかんがよく断つ。ただ禅那（と）
 正思惟のみ有つてす。

心が静まると、その静かな心境から、正しく筋道を立てて考えてみることで、それが人間にとって実は救いにつながるのである。

〔般若心経秘鍵〕

沢山の仏様の中でも、とりわけ「慈」「悲」を象徴する存在として位置されている仏様は、「観世音菩薩」です。大慈大悲は「観世音菩薩」のシボルであり、字の通り（世の音を観る）仏様です。人々の悲しみや苦しみの声、つまり世の音をよく感じて大悲をもって、救済してください。観音様を祀っているお寺に行くと、大悲殿という御納経を頂けたりします。正観寺の御本尊も「聖観世音菩薩」であり、毎月十八日の縁日に、お護摩を焚き供養を行っています。

皆様も「慈悲の心」を是非実践して、心豊かな日々を送ってもらえたらと思います。





霊峰石鎚山参拝



地藏祭り



観音大祭 (柴燈護摩)



御詠歌奉納

後七日御修法

東寺は、弘法大師が真言宗を立教開宗された根本道場であります。この東寺で、国家の安泰、世界平和を祈って、真言宗各総本山の高僧方によつて、一月八日から十四日までの一週間にわたり後七日御修法が執り行われます。この御修法は現在、真言宗の最高の儀式・密教最高の儀式といわれ、約一二〇〇年近く続いています。

そもそも御修法はもともと宮中の重要な正月行事として営まれ、前七日の神事に続く、後七日の仏事の儀式です。東寺灌頂院で、金剛界・胎藏界の両部の法を隔年交互に修します。息災護摩壇・増益護摩壇・五大尊壇・十二天壇・聖天壇・神供・観音壇などを設け、同時に修します。

御修法は、弘法大師の教えを實踐し、相互供養（たがいに助け合う）と相互礼拝（たがいに尊敬しあう）の精神で、全ての人々の幸せと、世界平和をお祈り申しあげる大切な行事であります。

平成二十五年一月九日に、広島県密教青年会（広島県の安芸地区各派の若手真言宗僧侶の結集）が主催となり、正観寺本堂にてお勤めさせて頂きました。



中曲理趣三昧
ちゆうきょくりしめざんまい



後七日御修法

お経

お経は、お唱えするだけで、大変ご利益・功德があります。お経の深い意味を解することが出来なくても、既にその言葉には力が備わっています。お経に書かれていることは、仏教で言うところの智慧であり、人を良い方向へ向かわせてくれる言葉が並べられています。だから意味が解らなくても、仏様に向かってお勤めするという事は、力ある祈りの言葉を発しているのです。

特に心を込めてお勤めするお経は、仏様にとって良い御供となります。御先祖様、故人、お経を唱えた人、お経を聞いた人等にも、もちろん功德が及びます。

皆様も感謝の気持ちを持ち、真心を込めてお勤めしましょう。

「涙」とは

「涙」の真意は、涙をこぼしながら、房ることの大切さを教えるために、「さんずい」に「房る」と示しています。涙のない人生は無い、けれども、泣くことによって房る世界が有ります。涙を流したおかげで、泣くことによって人に対する思いやり、温かさ、生きる勇気が与えられるはずです。

泣いて自分を失い、泣いて情に流され、泣いて自分を駄目にするのではなく、泣くという事は、涙して立ち上ることを意味しています。

泣くことにより、人に対する優しさ、自分に対する厳しさ、そして限りなき勇気を持つことができますと思います。

目に見えないモノの大切さ

私たちが子供の頃は、「嘘をつく」と閻魔様に舌を抜かれる」とか「そんなことをしたら地獄に落ちる」とか言われまして、とても怖かった記憶があります。しかし、最近あまりそういうことは信じない世の中になってきました。

私たちが最も大きな間違いを起していることは、「目に見えるモノは存在するけど、見えないモノは存在しない」と思っていることではないでしょうか。西洋的な一見合理的に見える教育に慣れてしまった私たちは、目に見えない世界を信用しなくなつては無いでしょうか。

本来は、目に見えないモノによって、実は私たちは生かされていると思っています。

例えば、商売をするなら信用が第一です。信用というものは目に見えませんが、必ずあります。また、夫婦・親子・恋人同士の間には、愛が大切です。愛というモノも、目には見えませんが必ずあります。仏様だって、神様だって、御先祖様だってそうであると思います。

本年は目に見えないモノの大切さを考えて暮らしませんか。信用・信頼・愛・誠意・感謝・等々を大事にされて、心の財産を増やしてくださいましょう。



平成二十六年年度 年間行事予定表

| 六 | | | 五 | | | 四 | | | 三 | | | 二 | | | 一 | | | |
|----|------|-------|----|--|--------|---|--|------|---------------|------------|---------|----------------|------|------|----------|------|-------------|-------------|
| | | 十八 | | | 二十一 | | | 十八 | 十三 ~ 十五 | 二十三 | 中旬 | 九 | | | 三 | | 十八 | 一 ~ 三 |
| | | 観音縁日 | | | 弘法大師縁日 | | | 観音縁日 | 小豆島八十八ヶ所霊場巡拝 | 春季彼岸会 | 春季彼岸お参り | 観音大祭(火渡り・福餅まき) | | | 星祭り(節分会) | | 初観音縁日 | 修正会(初祈願) |
| 十三 | | | 十二 | | | 十 | | | 九 | | | 八 | | | 七 | | | |
| | 三十一 | 十八 | | | 十八 | | | 十八 | | 十八 | 中旬 | 二十四 | 十五 | 上旬 | | 十八 | 六 ~ 七 | |
| | 年越し祭 | 納観音縁日 | | | 観音縁日 | | | 観音縁日 | | 観音縁日・秋季彼岸会 | 秋季彼岸お参り | 地藏祭り・施餓鬼(演奏会) | 孟蘭盆会 | 盆お参り | | 観音縁日 | 霊峰石鎚山参拝 | |

月例行事予定表

- 一、諸祈願(護摩)
毎月十八日 午前十時半より
御本尊「聖観世音菩薩」縁日
十八日が日曜・祭日の場合は、
二十一日「弘法大師」縁日
但し、(二月・三月・八月)は除く
- 二、般若心経写経教室(月一回程度)
- 三、高野山金剛流御詠歌教室(月二回程度)

参加者募集

- 一、平成二十六年四月十三日(日)
~十五日(火) 二泊三日
『小豆島巡拝』 費用 三三、〇〇〇円
- 二、平成二十六年七月六日(日)
~七日(月) 一泊二日
『石鎚山参拝』 費用 三三、〇〇〇円

墓地(宗派不問)・納骨堂(宗派不問)
水子地藏尊奉納供養 空きがあります。
諸供養、諸祈願等承ります。
詳細はお寺まで、お尋ね下さい。

〒七三五-〇〇二九
広島県安芸郡府中町茂陰二丁目二一八-四
TEL 〇八二-二八二-五六六二
FAX 〇八二-二八五-五五三〇
正 観 寺
http://www.shokanji.com
info@shokanji.com